

脱炭素社会へ

5月といえば、ゴールデンウィークを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。最近では市役所にパスポートの申請に訪れる方も多く、今年の大型連休を海外で過ごされる方、また国内での旅行を楽しまれる方と各地で人のぎわいも戻ってきそうですね。これまで国はマスクの着用や水際対策を順次緩和してきましたが、8日には新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類へ移行となります。移行に伴いコロナ禍前のように近付くことになりそうですが、医療提供体制や感染対策の変更点も一度ご確認いただければと思います。

さて、ご承知の通り、近年日本を含む世界各地において、地球温暖化を原因とするさまざまな災害が発生しており、私たちの生活や自然環境などへの影響が危惧されております。私の掲げるビジョンでも未来へ夢と希望を持てるまちづくりの一環として、「SDGsの推進。自然エネルギーを活かした脱炭素先行地域の実現」を目指しております。それに伴い今年度より、家庭における地球温暖化対策の推進と災害時などにおける電力の強靭化を図るた

め、住宅用太陽光発電設備や蓄電池などを設置する場合に費用の一部を補助する「住宅用設備等脱炭素化促進事業」を実施いたします。その他にも、昨年11月に、ゼロカーボン匠瑳推進協議会と本市で「ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向けた取り組みを連携して推進するための協定を締結しました。市と協議会の協働により、国が募集する「脱炭素先行地域計画」の策定に取り組み、本市の主要産業である農業を中心とした脱炭素先行地域計画を取りまとめ、本年2月17日に国へ提出することができました。本計画に基づく各種事業を推進するためには、市民の皆さまのご協力が必要不可欠となります。市といたしましても脱炭素化に向けた機運を高めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



それでは皆さま、散歩のまち匠瑳の新緑を味わうふるさと巡りに出掛けましょう。

匠瑳市長 宮内康幸

匠瑳探訪

橋の伝説

長谷を歩く

「お姫様」の登場する昔話や伝説は全国各地にあるようです。50年ほど前、市内に残る昔話や伝説を集めた際、長谷（共興地区）で拾えた「ふりそで橋」の話も姫伝説の一つといえるでしょう。

その話の載っている書物などはなく、語ってくれたお年寄りも当時80歳を過ぎていました。

長谷に横川という集落があり、その近くを流れる川に橋があったといいますが、その昔、追っ手に追われたお姫様の着物の袖が橋に引っ掛かってしまい、逃げ切れずにそこで命を落としました。

そのことから、橋を「ふりそで橋」と呼ぶようになったと聞きました。

伝説としてはそれだけの話ですが、当時すでに橋などのない広がる水田を眺めながら聞いたことで、強い印象が残りました。

長谷の如来寺周辺とその南に位置する本郷などは中世以来の集落で、さらに海岸に近い新田や曾根、横川などの集落は小字名に沼や川の付く地名が見られることからそれらを干拓して水田ができたのでしょうか。

「ふりそで橋」の伝説が生まれた背景を探っても、この地域に伝説を残すような争いは思い当たりません。そこで想像を膨らませると、1685（貞享2）年に長谷村農民に出された判決に絡んだ伝説か、と思ひ至りました。

村内に20余りあった釜場を名主が横領した、と村人らが幕府に訴えました。幕府の下した裁決で、地図に見られる80軒余りのうち長谷村56人が仕置き（刑罰）を受けました。さらし首と打ち首7人、村からの追放（所払い）2人などが重い罪で、罪を負った農民の中には幼子がいたことでしょう。そうした悲劇が「ふりそで橋」の伝説を生んだのかも知れません。

さらし首となった八右衛門の供養碑が建てられたのは死後200年を経てからで、「ふりそで橋」の話はそれと結び付くようにも思えました。

（市文化財審議会委員・依知川雅一）

問 秘書課 広報広聴班 ☎73・0080



横川近くの石造物

文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73-0080 FAX72-1114

短歌

依知川 雅一 推薦

春立ちて風薫る田に土筆ゆれ

日々上達すうぐいすの声

桑原 宏子

初夏近く学生服はかごの中

列なす自転車薫風をよぶ

高橋百合子

ひらひらと桜舞い散る窓の外

ドートルコーヒーロへと運ぶ

鈴木 知子

幼子に我の似顔絵指示をする

しわは少なめ髪は多めに

鈴木 志子

北の駅着けば残雪海見ゆる

阿久悠の歌口ずさむ

内藤喜代美

やわらかな光の春に包まれて

桃の蕾もふくらみを増す

古谷由美子

今の世はスマホが我を操って

「ポロロン、ポロン」と次へ促す

鈴木 和子

川口 城司 推薦

デイサービス第二金曜日書道教室に

太筆握る感触宜し

小川 知至

誰も来ず電話も鳴らず雨の午後

カセットテープに母の声聞く

稲葉 雪子

俳句

椿 和枝 推薦

夫とゆくこの道と杖揚雲雀

鶯や一瞬止まる箒の手

安藤 建子

花衣脱いでおもむる厨入り

遙かなるゴビの砂漠や黄砂来る

椎名 晴江

みちのくの各駅停車山ざくら

ふらここや鎖のにはふ雨上がり

岩井 やす

にはとりのまどろんである花衣

にはとりのまどろんである花衣

那須 恒雄

川口 城司 推薦

カレンダー音高く剥ぐ四月朔

制服の表情かたし桜門

鈴木 志子

川柳

勝又 康之 推薦

優しさに介護する愛ありがどう

子が巣立ち親の介護で離婚する

土屋 秀雄

お隣りは老々介護仲が良い

ヘルパーの資格取る気にさせた義母

佐久間美智子

子育てと親の介護の二刀流

老介護昔姥捨て今施設

小川 敏榮

介護され足腰さかず口達者

介護され足腰さかず口達者

江波戸京子

川口 城司 推薦

値上がりで無駄な買物しなくなり

孫受験ラインで届く桜咲く

須貝 玉泉

神宮林人慾に負け倒される

野仲てつ幹



子どもたちも、読書スペース(手作りベンチ)で、本に親しみました！

隊員ながの

そうさ発見発信 No.05

地域おこし協力隊員、長尾将徳さんがSNSで発信した匝瑳市体験をピックアップしてお知らせします。

フリーマーケットで初出店しました

3月21日、匝りの里にて2年ぶりに「フリーマーケット」が開催され、ハンドメイドや骨董品が並びました。私も手作りのベンチを持ち込み、古本店を初出店。本の寄付も募集し、地域の人から絵本やエッセイ、料理本など数十冊の寄付を頂きました！大切に活用させていただきます。

5月4日(木)に匝りの里で開催予定の盆踊りイベントでも、古本の寄付を募集します。



SNSで情報発信

隊員としての活動をSNSで発信しています。友だち登録、フォロー、いいね！よろしくお願いします。

LINE

▶友だち登録はこちらから



Twitter

▶ツイッターのアカウントはこちらから



Instagram

▶インスタグラムのアカウントはこちらから

